

## 会員の活動報告

(2015年11月～2016年10月)

### 伊川 徹

- Le karaté, patrimoine vivant immatériel, Médiation interculturelle des pratiques japonaises / françaises, ( thèse de Doctrat) présenté par Jérémie BRIDE à l'Université de Franche-Comté, au Grand Salon de la Faculté des lettres, le 14 janvier 2015, à 14h00. (Le rapport final de soutenance de thèse de Jérémie Bride 14 janvier 2015 Université de Franche-Comté Grand Salon UFR SLHS et le rapport complémentaire par Le Président du Jury, Professeur IKAWA Toru, 2015年11月)
- これからのフランス語教育に妨げとなること Nous avons des obstacles à surmonter sur notre chemin de formation (*RENCONTRES 30*, Rencontres Pédagogiques du Kansai, pp.49～53. 2016年7月)
- これからのフランス語教育に妨げとなること Nous avons des obstacles à surmonter sur notre chemin de formation (口頭発表、第30回関西フランス語教育研究会、於上田安子服飾専門学校、2016年3月)

### 奥 純

- 『ニューヨーク革命計画』とニューヨーク (『仏語仏文学』第42号、2016年3月)

### 柏木 治

- エジプト古代遺産収集と文明史的な位置づけ — ベルナルディーノ・ドロヴェッティと文化遺産(2) — (*Journal of the Center for the Global Study of Cultural Heritage and Culture*, vol. 3、2016年3月)
- 理工科学校の残照 — スタンダールの小説世界におけるポリテクニシャン (『関西大学文学論集』第66巻2号、関西大学文学会、2016年9月)
- 織田作之助青春賞選評 (雑誌記事、『三田文学』第124号冬季号、三田文学会、2016年2月)
- 「確かなリアリティー」(雑誌記事、織田作之助青春賞・U-18賞選評、『文学回廊』創刊号、大阪文学振興会・織田作之助賞実行委員会、2016年3月)
- 「確かなリアリティー」(新聞記事、織田作之助青春賞・U-18賞選評、『毎日新聞』、2016年1月)

- エジプト黄道帯星座図と19世紀初期のフランス文化（学会ポスターセッション、国際シンポジウム「世界の文化財保護～地域に根ざした活動と課題～、関西大学国際文化財・文化研究センター、2016年2月）
- 文化と文化遺産～エジプト遺産と文化イデオロギー（公開セミナー、平成27年度文化財保存修復セミナー、2016年2月）
- 「「締め切り」という言葉がなくなる日」（三浦しをん氏との対談、織田作之助賞実行委員会、第32回織田作之助賞受賞記念講演会、2016年7月）

#### 渋谷直樹

- 「ヴォルテール悲劇に見られる新たな父性愛」（『EBOK』第28号、神戸大学仏語仏文学研究会、2016年3月）
- 「ヴォルテールのクレピヨン悲劇への批判」（口頭発表、日本フランス語フランス文学会、2016年5月）
- 「ヴォルテールにおけるカタルシス解釈の形成過程と徹底化」（口頭発表、18世紀フランス研究会、2016年10月）

#### 友谷知己

- La Critique d'*Œdipe* chez les Irréguliers et les Réguliers au XVIIe siècle français（『仏語仏文学』第42号、2016年3月）

#### 内藤義博

- 「ブフォン論争におけるルソーの敵」（『仏語仏文学』第42号、2016年3月）

#### リコ-ヨコヤマ・アドリアナ

- Pour une approche plurilingue de l'enseignement des langues au Japon (*RENCONTRES* 30, Bulletin des Rencontres pédagogiques du Kansai、関西フランス語教育研究会、2016年7月)
- Pour une approche plurilingue de l'enseignement des langues au Japon（口頭発表、第30回関西フランス語教育研究会、2016年3月）

#### 山川清太郎

- フランス語教育におけるICTの活用とデジタル教科書への展望（口頭発表、日本デジタル教科書学会、2016年8月）

- 『『コンピュータ・フランス語』で留学生活は踊る（前編）』、（講演、iTeachers TV、2016年6月22日配信）
- 『『コンピュータ・フランス語』で留学生活は踊る（後編）』、（講演、iTeachers TV、2016年6月29日配信）
- iTeachers TV 2016 夏休みスペシャル 3 ミニッツ祭り（第2回）、（講演、iTeachers TV、2016年8月24日配信）

### 修士論文題目

2016年9月

徳田有衣

コルネイユ中期悲劇における錯綜した筋

— 『エラクリュス』と『ロドギュンヌ』を中心に —

## 後 記

本年も、『仏語仏文学』をお届けする時期になりました。本号で第43号になりますが、例年に増して充実した論集にすることができました。原稿をおよせいただきました会員の皆様、および本号の刊行に協力いただきました皆様には、厚く御礼を申し上げます。

また、本号では、特別企画として本学大学院博士課程前期課程の久保勘太良さんが昨年3月に本学文学部を卒業するにあたって提出した卒業論文を掲載しました。この論文は2015年度フランス語フランス文学専修の中で最優秀賞を獲得した論文のうちの一編です。本論集が学部学生の勉学の励みともなることを願っております。

本学会2016年度研究発表会・総会が2016年12月17日（土）午後3時から、関西大学千里山キャンパス第1学舎「実験実習・語学系4」教室において開催されました。会員諸氏による研究発表と講演が1件ずつ行われましたが、和やかな中にも活発な質疑応答で盛り上がり、充実した発表会となりました。当日の研究発表と講演の題目及び発表者を以下に紹介しておきます。

### 【研究発表】

アラン・ロブ＝グリエのロマネスク三部作について (1)

本学教授 奥 純 氏

### 【特別講演】

Évolution de la perception du bourreau de masse en France: entre fascination et identification

本学准教授 Adriana RICO-YOKOYAMA 氏

末尾ながら、会員各位のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(編集委員会)

## 関西大学フランス語フランス文学会々則

1. 本会は関西大学フランス語フランス文学会 (Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) と称し、事務所を関西大学文学部フランス語フランス文学専修合同研究室に置く。
2. 本会はフランス語フランス文学に関する研究および発表と、これに関連する事業を行なうことを目的とする。
3. 本会は次の事業を行なう。
  1. 機関誌「仏語 仏文学」(Bulletin de la Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/The Bulletin of Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) およびその他の出版物の刊行。
  2. 研究会・講演会の開催。
  3. その他本会の目的にかなう事業。
4. 本会はその目的に賛同する次の会員をもって構成する。
  1. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修専任教員。
  2. 関西大学大学院文学研究科フランス文学専攻・専修学生、およびその修了者 (旧学科名称時の大学院修了者を含む)。
  3. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修学生、およびその卒業生 (旧学科名称時の学部卒業生を含む)。
  4. 本会の趣旨に賛同し、入会を認められた者。
5. 本会の目的を達成するため会費を納入する。
6. 本会に次の役員を置く。その任期は1年とし、重任を妨げない。
  1. 会 長 1 名
  2. 委 員 若干名
    - a. 企画委員
    - b. 編集委員
    - c. 庶務・会計委員会長と委員によって委員会を構成し本会の実務の運用に当り会長はこれを統括する。
7. 会員は機関誌「仏語 仏文学」等の配布をうける。また会員は機関誌への投稿、および本会の行なう事業に参加することができる。なお、投稿論文は、会則6に定める委員会の議を経て掲載される。
8. 本会の重要事項は総会の議決による。

(2007年4月1日から施行)

## 仏語 仏文学 第43号

2017年3月15日 発行

編集・発行 関西大学フランス語フランス文学会  
吹田市山手町 関西大学  
フランス学研究室  
印刷所 株式会社 遊文舎  
大阪市淀川区木川東4丁目17番31号  
電話 (06) 6304-9325(代)

(非売品)